

2011
原水爆禁止国民平和大行進
 6/12(日)~18(土)
 名護市辺野古→
 那覇市県民ひろば
 ★通し行進者募集!★

沖繩民医連
県連ニュース

発行責任者
内間 均
 〒900-0024
 那覇市古波4-10-53
 健康企画ビル3階
 TEL: 098-833-3397
 FAX: 098-833-3398
 okimin@nirai.ne.jp

全日本民医連臨時理事会(4月2日)

長期の支援を展望し、4月の支援方針を確認

あらゆる困難を乗り越え、震災直後、ただちに救援・支援活動に行かれた第1陣から第4陣までの22人の職員のみなさんに、あらためて敬意と感謝を申し上げます。

今後の全国支援を確認する全日本民医連の臨時の理事会が4月2日おこなわれました。

全日本民医連副会長で坂総合病院の今田隆一院長から、『民医連の仲間のみなさんへ』という現地からの報告を兼ねたメッセージが理事会に届けられました。

3週間たった今でも避難所でたぐさんの住民が必死で暮らしている現状を次のようにつたえていきます。

「昨日、妊娠7ヶ月の女性にお会いしました。旦那様に当たる方とご親戚の消息が分からず、探しながら一人で避難所におられる方でした。ま

も寒さが厳しく、避難所の食糧事情も芳しくありません。私たちは、医療支援と同時に介護の保障、そしてなよなよの生活環境の改善へのとりくみもしなければ、解決の糸口さえつかめない状況です」

臨時理事会は、長期の支援を確認し、これまでの「坂総合」を拠点とした支援活動を4月から「坂総合」「長町病院」「松島海岸診療所」の3つを拠点として全国支援体制を組む、地協単位で体制を組むことになりました。

福島、茨城についても

医療機能維持のための支援、原発事故避難者への支援を検討することを決定しました。

臨時理事会を受けて、九州地協は、引き続き「坂総合」への支援体制をくむことが決まり、4月の沖縄県連からの支援を以下のようにすすめることになりました。

- 4/9(土) 16(土) - (県連第5陣 支援団) 医師1人、看護師2人、事務他1人(計4人)
- 4/19(火) 26(火) - (県連第6陣 支援団) 看護師2人、事務他1人、介護1人(計4人)

未曾有の地震・津波災害、原発問題は全容が明らかにならず、被害の甚大さを思い知らされます。

今後、長期にわたる復興支援は数年~10年かかるとも言われ、支援の輪を途絶えさせることはできません。

「私にできる支援って何・・・?」そう考えている職員も少なくないはず。1人では小さくても1人ひとりの想いが集まれば、きつと大きな力になります。

そんな想いを、協同にシクリニクの玉城直子さんが手作りの作品「貝殻ソーサー」に込め、募金活動を行います。「貝殻ソーサー」は海で拾った貝殻を利用し、全ての部位を貝やサンゴで作成。ひとつひとつの表情に癒されます。

売上金はすべて義援金にすること。販売期間・価格など詳細は協同にシクリニク・デイサービス玉城さんまで!

5/1(日) - (県連第7陣支援団) 看護師2人、事務他1人、介護1人(計4人)

なお、5月以降の具体的な日程は、追って提起されますが、全事業所が支援団の派遣に積極的に対応されますよう、また職員一人ひとりに何が出来るか、

全職員に積極的によびかけてくださるようお願いいたします。

命を守ることにこだわらぬ民医連魂をあらためて発揮し、困難は団結と連帯で乗り越える活動にいまこそ全職員が参加しよう。

(県連事務局 内間均)

新入職員のみなさんようこそ沖繩民医連へ



新垣安男 会長

沖繩民医連会長 新垣安男

新入職員の皆さん、沖縄県民生医療機関連合会(沖縄民医連)の事業所への入職おめでとうございます。

沖縄民医連は、沖縄医療生協(病院・診療所・介護福祉事業)と(株)沖縄健康企画(保険薬局)、(株)メディコーおきなわ(薬剤共同購入事業・IT事業)の3つの法人、1300名余の職員から成り立っています。今年度は総勢81名の入職になります。

戦後最悪な震災被害に加え、原発被害が被災者はじめ国民生活を不安に陥れています。

そのような中で多くの国民が被災者救援に立ち上がっています。私達沖縄民医連は、全日本民医連の呼びかけで震災3日目に6名(医師2名、看護師2名、事務2名)を派遣し、現在まで4次にわたり22名の職員を現地へ派遣してきました。

今回の震災は津波や原子力発電に対する安全神話が崩れ去り、日本の社会のあり方が問われています。

安心して暮らせる街づくり、子どもやお年寄り、障害者が守られる社会を目指した活動が必要ではないでしょうか。

今年度入職された皆さんが一日も早く職場に溶け込んで、先輩職員から大いに学び、医療人として、また民医連職員として立派に成長されることを期待しています。



復興への希望を繋げよう~沖縄からエール~



心はひとつ 被災地の仲間たちへ

不眠不休で病院を守り、地域の命を守り続けている現地の皆さん本当にありがとうございます!!震災直後から、全職員で力一杯のチームワークに涙さを感じ、感動を覚えました。おきなわから、想いを込めてお届けします!

右の写真はソーサーアンダギー。一つひとつにメッセージを添えて、第5陣に託します! (県連事務局 与儀幸子)

